

## 研究報告

中国越境電子商取引産業の発展と  
その将来の展望

遼寧社会科学院北東アジア研究所研究員 秦兵

## 要旨

近年、中国の越境電子商取引の輸出入は良好な発展傾向を継続しており、越境電子商取引は中国の対外貿易における新たな成長点かつ重要な推進力となっている。越境電子商取引の貿易メカニズムが徐々に改善され、国際物流ネットワークが継続的に整備されるにつれ、越境電子商取引チャネルの拡大が加速し、ますます多くの市場参加者がこのチャネルを通じて「世界中で買い、世界中で売る」を実現している。中国の越境電子商取引産業の発展は豊かな成果を上げているが、依然としてメカニズム・システムと生態系の改善の必要がある。越境EC監督管理の総合的な改革を深化させ、また、越境EC総合試験区の運営レベルを向上させる必要がある。海外倉庫のサービス品質にばらつきがあるなど、多くの問題が存在する。同時に、越境EC産業の発展は巨大な機会と深刻な課題にも直面している。越境EC産業の発展に対し効果的な措置を講じ、支援を強化することが必要であり、これにより対外貿易の規模安定化と構造最適化を促進し、対外貿易・経済協力の発展に新たな活力を注入できる。

キーワード：越境EC、産業ベルト、海外倉庫、対策、展望

JEL分類：F20

近年、中国の越境電子商取引(越境EC)の輸出入は、発展の勢いを維持し続けており、越境電子商取引は新たな成長ポイントとなり、中国の対外貿易における重要な力となっている。越境電子商取引取引メカニズムの段階的な改善と国際物流ネットワークの継続的な疎通により、国境を越えた電子商取引ルートの拡大が加速し、ますます多くの市場プレーヤーがこのルートを通じて「グローバルに売買」している。2023年末に開催された中央経済工作会议は、「対外貿易の新たな勢能の育成を加速し、対外貿易と外国投資の基盤を強化し、中間財貿易、サービス貿易、デジタル貿易、および越境電子商取引の輸出を拡大する必要がある」と提案した<sup>1</sup>。中国共産党中央委員会第20期第3回全体会議の「決定」では、「デジタル貿易を革新し発展させ、越境EC総合試験区の建設を促進する」ことを提案していた<sup>2</sup>。越境電子商取引産業の発展を加速することは、対外経済と貿易の大幅な飛躍的發展を促進し、「双循環」発展パターンを構築するために非常に重要である<sup>3</sup>。主要な科学技術革新と産業変革は、国際経済および貿易パターンの変

化を促進するための重要な力であり、越境電子商取引は、対外経済および貿易協力の新しい形式とモデルであり、近年、中国の対外経済および貿易発展を促進するための重要な道筋と支援力となっている。越境電子商取引業界の発展を促進することは、伝統産業のデジタル化転換、対外貿易業界の最適化とアップグレードを促進し、国際市場と効果的につながり、企業の国際競争力を強化する上で重要な役割を果たしている。中国の越境電子商取引産業の発展は実りある結果を達成したが、まだメカニズム・システムと生態系を改善する必要性に直面している。例えば、越境電子商取引の監督に関する総合的な改革を更に深める、越境EC総合試験区の運用レベルを改善する必要がある、海外倉庫のサービス品質にばらつきがあるなど、多くの問題がある。同時に、越境電子商取引業界の発展も大きな機会と深刻な課題がある。対外貿易の規模を安定させ、構造を最適化し、対外貿易と経済協力の発展に新たな勢いを注入するために、越境電子商取引産業の発展に対する効果的な措置を講じ、支援を増やす必要がある。

<sup>1</sup> 2023年12月11日から12日にかけて、北京で中央経済工作会议が開催された。

<sup>2</sup> 2024年7月18日、中国共産党中央委員会第20期第3回全体会議は、改革のさらなる全面的な深化と中国式近代化の推進に関する決定を採択した。

<sup>3</sup> 「双循環」とは「国内大循環を主体として、国内外の双循環が互いに促進する経済の新発展モデルを目指す」と表明した。狙いは、サプライチェーンの強靱化、消費の拡大、輸出の促進と考えられる。

## 1. 中国の越境電子商取引産業発展の動向

### (1) 中国の越境電子商取引産業の発展過程

中国の越境電子商取引産業の発展過程を振り返ると、越境電子商取引は、伝統的な対外貿易の発展から対外貿易電子商取引への発展から始まり、さらに越境電子商取引に発展してきたことがわかる。中国の越境電子商取引産業の発展は今のところ、二十年あまりに過ぎない。インターネット技術レベルが急速に大きく向上したことにより、中国の越境電子商取引産業は爆発的に成長を遂げた。一般に、中国の越境電子商取引産業の発展プロセスは、大きく4つの段階に分けることができる。

#### ①萌芽期(1999-2003年)

1999年、アリババは国際局を設立した。2000年、環球資源はNASDAQに上場した。萌芽期の越境電子商取引の主なビジネスモデルは、オンライン表示とオフライン取引による外国貿易情報サービスモデルであり、消費者はWeb広告を通じてオフライン取引に引き付けられる。この期間中、サードパーティプラットフォームの主な機能は、企業情報と製品をネット表示するプラットフォームを提供することであり、オンラインの取引は一切関与しなかった。

#### ②成長期(2004-2012年)

2004年に、敦煌網が設立された。2007年に、B2Cの国境を越えた電子商取引LightInTheBox（兰亭集势）が設立された。2010年には、B2B越境電子商取引大龍網、アリババのB2C越境電子商取引プラットフォームのAliExpress（全球速卖通）および輸入越境電子商取引の洋碼頭が設立された<sup>4</sup>。国境を越えた電子商取引プラットフォームの主な取引モードは主にB2Bモデルであり、プラットフォーム化と標準化に向けて動き始めているが、ビジネスモデルはまた完璧ではない。eコマースプラットフォームの助けを借りて、B2BプラットフォームモデルやB2Cプラットフォームモデルなどのサービスとリソースの統合を通じて、上流と下流のサプライチェーンが効果的に繋がれた。この期間中、B2Bプラットフォームモデ

ルは国境を越えた電子商取引の主流モデルであり、中小企業の商人と直接つながることで、産業チェーンをさらに短縮し、商品販売の利益率を向上させた。

#### ③発展期(2013-2017年)

2013年、国務院常務会議は、対外貿易を促進するための「全国6条」を策定し<sup>5</sup>、全国人民代表大会常務委員会は「中華人民共和国の電子商取引法」の立法プロセスを正式に開始した。2014年以降、天猫国際や考拉海購(Kaola)などの大規模なプラットフォームが次々と立ち上げられている。発展段階では、Bエンド企業は、オンラインおよびオフラインの業界チェーン全体の急速な拡大、産業エコロジーの初期形成、および産業チェーンにおける付加価値サービス提供者の継続的な差別化という特徴を示している。

#### ④成熟期(2018年～現在)

2018年、電子商取引法が正式に可決された。2018年以降、中国越境電子商取引産業は、複数のモードの統合的発展の時期に徐々に入っている。この期間中、大規模工場の立ち上げ、Bタイプのバイヤーの形成、中規模および大規模の注文の割合の増加、大規模サービスプロバイダーの参入、モバイルユーザーの爆発的な増加という5つの特徴がある。同時に、サービスの包括的なアップグレード、プラットフォームのより強力な収容力、および業界チェーン全体のオンラインサービス化も、この期間の重要な特徴である。

### (2) 中国の越境電子商取引産業の発展現状

#### ①越境電子商取引の輸出入は拡大を続けている

近年、越境電子商取引は、中国の対外貿易および世界の経済および貿易分野で新たな明るいスポットになっている。越境電子商取引は、インターネットやその他の情報ネットワークを通じて商品を販売し、サービスを提供する。これは、貨物貿易とサービス貿易の属性を持ち、デジタル貿易の重要な部分でもある。越境電子商取引産業は、イノベーション、統合性、効率性、持続可能性、

図1 2018－2024年中国越境電子商取引輸出入総額および増加率



(出所)税関総局のデータより筆者作成。

<sup>4</sup> B2Bプラットフォームモデルはプラットフォームからビジネスへのマイクロトランザクションであるのに対し、B2Cはプラットフォームからユーザーへのマイクロトランザクションである。

<sup>5</sup> 2013年7月24日、対外貿易を促進するために、国務院常務会議は、対外貿易を促進するための「国家6か条」を策定した。これらの6つの措置は、通関を容易にするための措置を策定し、全国の出入境審査場で段階的に実施される。輸出入リンクの運用手数料を修正し、管理手数料を削減する。金融機関に対し、企業やプロジェクトへの支援を増やすよう奨励する。包括的な対外貿易サービス企業を支援し、中小規模の民間企業の輸出のための融資、通関、税金還付、およびその他のサービスを提供する。商品の輸入を積極的に拡大し、輸入割引基金の規模を拡大する。基本的な国際収支を促進し、人民元の為替レートの基本的安定性を合理的かつバランスのとれた水準に維持するための努力がなされるべきである。

開放性などの「新質生産性」の中核的な特徴を持っており<sup>6</sup>、既に中国の対外貿易の発展の新たな原動力、変革とアップグレードの新しいルート、および高品質の発展の新たな手がかりとなっている。中国税関のデータによると、2016年から2020年にかけて、中国の越境電子商取引の規模は10倍近くに拡大し、中国の輸出入貿易の成長を強力に支えていた。現在、中国の越境電子商取引は依然として急速な成長を続けており、越境電子商取引の輸出入は2021年に1兆9800億元に達し、15%増加した。2022年には、越境電子商取引の輸出入量は2兆1100億元に達し、9.8%増加した。2023年、越境電子商取引の輸出入は2兆3800億元で、15.6%増加し、全国の輸出入成長率を15.4ポイント上回った。そのうち、輸出は1兆8300億元で、19.6%増加した。輸入は5483億元で、3.9%増加した。2024年には、越境電子商取引の輸出入は2兆6300億元で、前年比10.8%の増加となり、対外貿易の割合は2021年の4.9%から6%に達している（図1参照）。

さらに、越境電子商取引事業体の数も増加しており、国内で対外貿易の輸出入実績を持つ645,000の企業のうち120,000を超える企業が越境電子商取引事業体で、30,000を超える越境電子商取引企業が海外で商標を登録している<sup>7</sup>。越境電子商取引は、発展の勢いを維持し続けている。中国の対外貿易にその規模を安定させ、その構造を最適化するのを効果的に支援している。税関データによると、中国税関が登録した越境電子商取引企業数は、2024年に75,119社に達し、15.15%増加した。その中で、広

東省、浙江省、山東省が上位3位にランクされ、登録企業の総数の54.4%を占めている。（表1参照）。

②越境EC総合試験区と越境EC工業団地の規模は拡大し続けている

2025年、国務院は海南島や秦皇島など15の都市（地域）に越境EC総合試験区の設立を承認した（表2参照）。これは、2015年に杭州に最初の越境EC総合試験区が設立されて以来、7回目の越境EC総合試験区の拡大であり、全体として、国務院は合計178の越境EC総合試験区を8回に分けて設定し<sup>8</sup>、31の省、自治区、市町村をカバーし、基本的に国内外の陸と海のつながり、および東と西の間の相互援助の発展パターンを形成している。越境電子商取引の発展のための革新的な高地として、総合試験区は業界の革新発展を強力に推進した。全体から見れば、越境EC企業が占める割合が大きいこと、越境EC企業の体質の継続的に改善されていることおよびますます完全な産業支援施設が揃っていることといった特徴を呈した。各総合試験区は、地域の状況に応じた対策を講じ、各地の資源の優位性を十分に発揮し、技術変化、産業変革、要素再編を主導し、一連の実践的措置を模索し、開放して、「新質生産性」の発展を加速するための良好な条件を作り出した<sup>9</sup>。現在、総合試験区には約20万の越境電子商取引関連企業があり、そのうち9,300社以上がハイテク企業として認定されている<sup>10</sup>。

表1 2024年に中国税関に登録された越境電子商取引企業数（単位：社）

地域	越境EC関連企業	地域	越境EC関連企業
広東	15754	天津	950
浙江	12820	陝西	804
山東	12290	重慶	734
江蘇	6418	広西	558
福建	3763	山西	538
上海	2643	雲南	491
四川	2030	新疆	487
河北	1908	貴州	349
江西	1736	黒龍江	312
遼寧	1576	内モンゴ	309
安徽	1495	吉林	268
北京	1482	甘肅	267
湖南	1471	寧夏	168
河南	1291	青海	54
海南	1136	西藏	43
湖北	974		

（出所）中国税関企業輸出入信用情報広報プラットフォーム。

<sup>6</sup> 「新質生産性」とは、イノベーションによって支配され、従来の経済成長モードを取り除き、ハイテク、高効率、高品質の特性を持つ高度な生産性を指す。それは、技術革命的なブレークスルー、生産要素の革新的な配分、徹底的な産業変革とアップグレードによって生み出され、労働者、労働材料、労働目的の最適な組み合わせを強調している。

<sup>7</sup> 「超12万家、超10倍……新动能激発新活力！我国跨境电商发展“蒸蒸日上”」、2024年6月4日、CCTV <https://news.cctv.com/2024/06/04/ARTIM4nEzwWUqCXDLqsgIgb240604.shtml>(2025年7月6日に確認)。

<sup>8</sup> 2025年4月25日、国務院は海南島や秦皇島市など15の都市（地域）に越境EC総合試験区を設置することを承認した。同時に海口市、三亜市、阿拉山口市に設置した越境EC総合試験区を廃止したため、中国は合計178の越境EC総合試験区を持つ。

<sup>9</sup> 劉珊、馬莉莉、郭家琛。貿易新業態何以賦能新質生產力——來自跨境电商綜合試驗區的証据[J]。《國際貿易問題》[J]。2025年, (5):26-46。

<sup>10</sup> 「繼續扎实推进綜合試区建設 加快跨境电商國際合作」、2023年2月23日、光明網 [https://economy.gmw.cn/2023-02/23/content\\_36387165.htm](https://economy.gmw.cn/2023-02/23/content_36387165.htm)(2025年7月6日に確認)。

越境EC総合試験区は、越境EC工業団地の建設を積極的に推進し、さまざまな支援施設を充実させ、園區のサービス支援システムを改善し、投資誘致を拡大し、オンラインとオフラインを組み合わせた越境電子商取引体験店の建設と運営の発展を支援している。越境電子商取引が主導する工業団地は、雨後のタケノコのように出現し、支払い、物流、マーケティング、その他のセグメントで多くの専門サービスプロバイダーが出現した。越境EC工業団地の開発は、関連する産業チェーンの発展を促進し、外国投資を引き付け、雇用の成長を促進することができる。越境EC工業団地は、国際的な先進技術と管理経験の導入を通じて、地域経済の発展を促進し、地元企業の競争力と革新能力を強化し、地域産業全体のアップグレードと変革を促進するための重要なプラットフォームでもある。

③「シルクロード電子商取引」の国際協力が深化し、より多く進展する

平和、繁栄、開放、革新、文明の道を築くという目標に沿って<sup>11</sup>、中国は「一帯一路」沿いの経済貿易協力を深め、「シルクロード電子商取引」を発展させ、国際協力のための新しいプラットフォームを創造してきた。越境電子商取引は、従来のヨーロッパやアメリカの市場から、「一帯一路」諸国やASEANなどの新興市場にまで広がっている。ローカリゼーション戦略を通じて、eコマースプラットフォームは時間と空間の障壁を排除し、モバイルインターネットトラフィック

は商品と貿易の流れに絶えず変換された<sup>12</sup>。2016年11月に中国とチリの間で電子商取引に関する最初の覚書が調印されて以来、「シルクロード電子商取引」に関する国際協力は深化しており、多国間および二国間の国際協力の新たな道筋となり、「一帯一路」構想における質の高い協力のモデルとなっている。2024年7月末現在、中国は33カ国と二国間電子商取引協力に関する覚書を締結し、協力メカニズムを確立し、5大陸のパートナーとの政策交流、産業連結、現地協力、能力開発で目覚ましい成果を上げており、「シルクロード電子商取引」は経済貿易協力の新たなチャネルであり、ハイライトとなっている<sup>13</sup>。

（3）越境電子商取引の輸出入商品の構造は、継続的に最適化されている

現在、越境＋医薬品、越境＋生放送、越境＋デジタル、越境＋インテリジェントなど越境電子商取引の新しいフォーマット、新しいモデル、新しいチャネルが絶えず出現しており、輸入および輸出規模の継続的な拡大を促進している。越境電子商取引の輸出入の商品構造の観点では、輸入品の90%以上は消費財であり、主に美容とトイレタリー、生鮮食品、母子製品、医薬品とヘルスケアなどである(図2参照)。輸出商品は多様で、衣料品、靴やバッグ、家庭用繊維、電子およびデジタル、スマートフォンなどの中国の有利な製品をカバーしている。

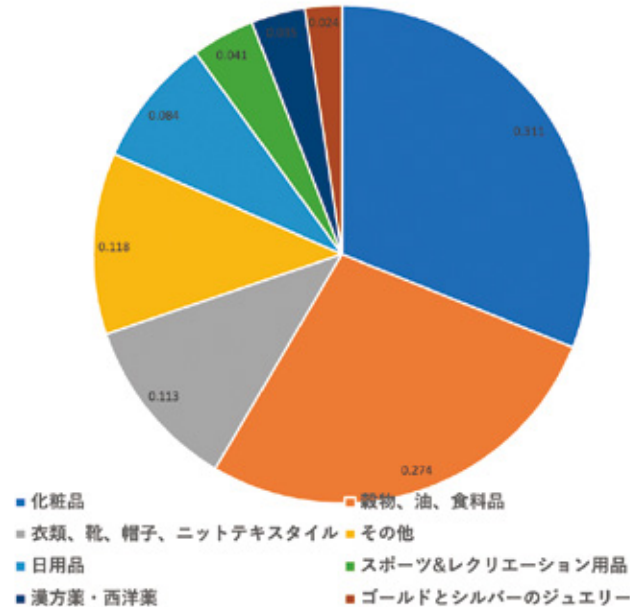
表2 中国の越境EC総合試験区

回数	承認の時期	数量	新たな設立された越境EC総合試験区
第一回	2015年3月7日	1	杭州市
第二回	2016年1月6日	12	天津市、上海市、重慶市、合肥市、鄭州市、広州市、成都市、大連市、寧波市、青島市、深圳市、蘇州市
第三回	2018年7月24日	22	北京市、フフホト市、瀋陽市、長春市、ハルビン市、南京市、南昌市、武漢市、長沙市、南寧市、海口市、貴陽市、昆明市、西安市、蘭州市、厦門市、唐山市、無錫市、威海市、珠海市、東莞市、義烏市
第四回	2019年12月15日	24	石家荘市、太原市、赤峰市、撫順市、琿春市、綏芬河市、徐州市、南通市、温州市、紹興市、蕪湖市、福州市、泉州市、贛州市、済南市、煙台市、洛陽市、黄石市、岳陽市、汕頭市、佛山市、瀘州市、海東市、銀川市
第五回	2020年4月27日	46	雄安新区、大同市、満州里市、營口市、盤錦市、吉林市、黒河市、常州市、連雲港市、淮安市、塩城市、宿遷市、湖州市、嘉興市、衢州市、台州市、麗水市、安慶市、漳州市、莆田市、龍岩市、九江市、東営市、濰坊市、臨沂市、南陽市、宜昌市、湘潭市、郴州市、梅州市、惠州市、中山市、江門市、湛江市、茂名市、肇慶市、崇左市、三亜市、徳陽市、綿陽市、遵義市、徳宏傣族景頗族自治州、延安市、天水市、西寧市、ウルムチ市
第六回	2022年1月22日	27	オルドス市、揚州市、鎮江市、泰州市、金華市、舟山市、馬鞍山市、宣城市、景德鎮市、上饒市、淄博市、日照市、襄陽市、韶関市、汕尾市、河源市、陽江市、清遠市、潮州市、揭陽市、雲浮市、南充市、眉山市、紅河哈尼族彝族自治州、宝鷄市、カシュガル地区、阿拉山口市
第七回	2022年11月14日	33	廊坊市、滄州市、運城市、包頭市、鞍山市、延吉市、同江市、蚌埠市、南平市、寧徳市、萍鄉市、新余市、宜春市、吉安市、棗莊市、済寧市、泰安市、徳州市、聊城市、浜州市、菏泽市、焦作市、許昌市、衡陽市、株洲市、柳州市、賀州市、宜賓市、達州市、銅仁市、大理白族自治州、ラサ市、伊犁カザフ自治州
第八回	2025年4月25日	16	海南全島、秦皇島市、保定市、エレンホト市、丹東市、滁州市、三明市、開封市、新郷市、鄂州市、邵陽市、梧州市、北海市、防城港市、広安市、ボルタラモンゴル自治州

(出所)公開資料より作成。

<sup>11</sup> 習近平国家主席は2017年5月14日、北京で開催された「一帯一路国際協力フォーラム」の開会式に出席し、「一帯一路構想を推進するために協力する」と題する基調講演を行った。  
<sup>12</sup> 顧陽、跨境電商以韌致遠“鏈”全球[N]. 経済日報,2025-06-21(5).  
<sup>13</sup> 「抓住機遇推進跨境电商跨越發展」2025年3月19日,中国網 [http://ds.china.com.cn/web/slds/detail2\\_2025\\_03/19/4497065.html](http://ds.china.com.cn/web/slds/detail2_2025_03/19/4497065.html)(2025年7月6日に確認)。

図2 2023年越境ECのオンライン小売輸入商品別貿易額割合



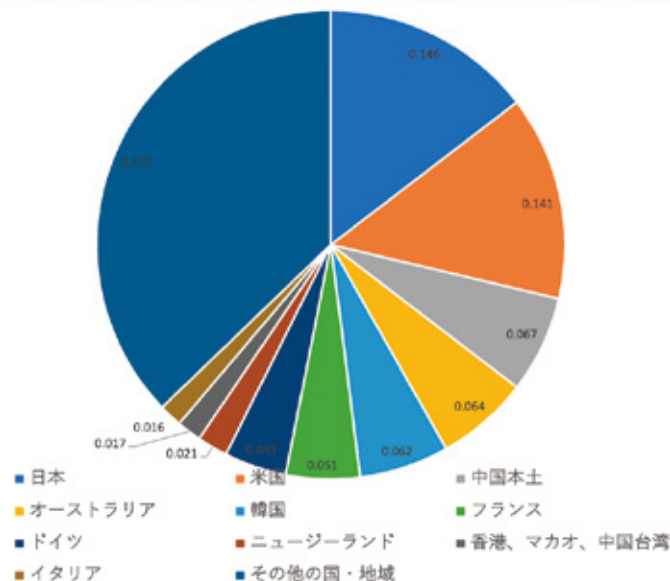
(出所)ビジネスビッグデータより作成。

#### (4) 越境電子商取引が急速に発展した理由と主な特徴

中国の越境電子商取引は、主に越境電子商取引市場の継続的な拡大、越境電子商取引と産業統合の継続的な深化、国境を越えた物流サプライチェーンの継続的な拡大、ますます多様化する海外チャネル、産業政策配当の継続的なリリース、および比較的完全な越境電子商取引政策の枠組みと制度システムの構築により、このような結果を達成することができた。中国の越境電子商取引の発展には2つの重要な特徴があり、1つは越境電子商取引市場の多様化である。越境電子商取引の輸出は主に米国、英国、マレーシア、フランス、ドイツ、日本、スペイン、ロシアなどに送られるが、国内プラットフォームはヨーロッパへの輸出を減らし、RCEP

加盟国への輸出を増やしている。輸入は主に日本、アメリカ、韓国からである(図3参照)。次に、越境電子商取引の競争形式は、引き続き頭角効果を示している。中国の越境電子商取引プラットフォームは、主に珠江デルタ、長江デルタ、北京-天津地域に集中しており、国をリードしている。税関総署のデータによると、輸出品は主に広東省、浙江省、福建省、江蘇省から来ており、ほぼ80%を占めている。輸入品の消費は広東省、江蘇省、浙江省、上海、北京に集中しており、合計で50%を占めている。規模の面では、東部沿岸地域がリードしている。成長率の観点から見ると、中西部地域における越境電子商取引は急速に発展している。

図3 2023年越境ECのオンライン小売輸入の原産国・地域別貿易額割合



(出所)ビジネスビッグデータより作成。

## 2. 越境電子商取引産業の発展における主な問題

### (1) メカニズムと生態系を改善する必要がある

メカニズムの観点では、越境電子商取引プラットフォームは、基本的な取引機能を提供するだけでなく、通関、税務、金融、海外倉庫保管などの複数の機能を統合することにも取り組み、企業に「ワンポイントアクセスとワンストップ」の包括的なサービスを提供する必要がある。企業の運用プロセスを簡素化し、運用コストを削減し、越境電子商取引の効率とセキュリティを効果的に改善する。中国の各省や都市で越境電子商取引産業の発展レベルに違いがあり、各地域の越境電子商取引産業の発展計画を明確にする必要がある。生態系の観点では、多くの越境EC総合試験区は、生態学的建設を軽視し、資源の補完性、上流と下流の産業チェーンの調整を無視し、入居した業者にサービスを提供するための適切なソフトウェアシステム統合を欠いている。垂直的な上流サプライヤーと下流の電子商取引プラットフォームのリソース補完性を完成させ、さまざまな越境EC工業団地とクラウド倉庫の水平リソース共有を実現する方法の運用プロセスには多くの困難がある。

### (2) 越境電子商取引監督の抜本的な改革を深化させる必要がある

現在、税関、検査・検疫、課税、外国為替の収受・支払いなどにはまだ障害があり、よりの絞った詳細な優遇政策が不足している。取引のセキュリティ、製品品質、物流、その他の側面に關するポリシーはまだ不完全であるため、越境電子商取引の発展のペースはある程度制限されている。各越境EC総合試験区は、輸入商品取引展示センターを積極的に建設しているが、展示センターのコンプライアンスとオンラインとオフラインの効果的な組み合わせを実現する過程には多くの問題がある。保税品の通関を数秒で達成するために、「フロントストアとバックウェアハウス+短納期」の革新的なビジネスモデルを作成することが計画されているが、申告のプロセス、プロセス全体の税関監督、および輸入越境電子商取引のデジタル運用にはボトルネックがある。規範と発展の両方を遵守し、税関の越境電子商取引監督の改革と革新を促進するためにさらに努力する必要がある。

### (3) 越境EC総合試験区の運用能力が不十分である

現在、越境電子商取引の専門家の人数が足りないため、実際のニーズを満たすことができない<sup>14</sup>。一部の越境EC総合試験区は、投資促進プロセスに多くの人的資源と資金を投資しているが、運用を軽視し、専門的な運用の人材と効果的なモデルが不足している。さらに、越境電子商取引の業務量不足の問題が顕著であり、注文数が少なく、イノベーションが不十分で、仕事のハイライトが不足している。多くの越境EC総合試験区は、盲目的に政府の補助金と支援を求めているが、内部の造血能力は弱く、長期的な

良好な発展を維持することは困難である。政策支援と市場の需要に後押しされながら、パークはテクノロジーアプリケーションのレベルを継続的に改善し、リソース統合機能を最適化し、ビジネスモデルの継続的なアップグレードを達成する必要がある<sup>15</sup>。

### (4) 海外倉庫のサービス品質にばらつきがある

現在、高い物流コストと不十分なローカリゼーションサービス能力が依然として主な問題点である。近年、越境電子商取引を行う海外倉庫の規模は急速に拡大しているが、その成長率は越境電子商取引に比べて低く、規模も比較的小さいのが現状である<sup>16</sup>。海外の倉庫の非標準的な運用と管理により、越境電子商取引のパフォーマンス効率は不十分であり、サービス品質を完全に保証することはできない。現在、海外倉庫システムの運用保守コストは高く、海外倉庫の商品の流れの効率を改善する必要がある。また、海外倉庫のサプライチェーンは複雑で、あらゆる関係者の情報障壁を突破する必要がある。さらに、海外の倉庫には、ロジスティクス管理機能とローカライズされた運用機能を備えた多数の国際的で専門的な人材が必要であり、海外の倉庫運用のための国際的な国境を越えたロジスティクスの専門家の不足はより深刻である。

### (5) 製品の品質とサービスレベルを向上させる必要がある

世界市場では、中国製品は高品質でコストパフォーマンスが高いと高い評価を得ている。しかし、製品の品質とサービスレベルに対する消費者の要求が高まる中、中国の製造業は依然として商品の品質とサービスを最適化し続け、常に競争力の向上に努め、中国の製造業の新しいイメージを確立する必要がある。

## 3. 越境電子商取引産業の発展の機会と課題

### (1) 越境電子商取引産業の発展機会

第一に、越境電子商取引市場には広々とした前途がある。インターネットインフラと物流システムの改善に伴い、中国の越境電子商取引の取引量は急速に増加し続けており、米国、英国、ドイツ、オーストラリア、ブラジルの5つの主要な越境電子商取引対象市場での中国製品のオンラインショッピング需要は拡大し続けており、越境電子商取引の将来の発展空間は非常に巨大である。今日、対外貿易企業は海外に出て、海外市場をレイアウトし、中国に立脚点を置き、世界に向けている越境電子商取引モデルを徐々に確立している。広大な市場の可能性と強い需要により、中国はこの越境電子商取引競争において比類のない機会優位性を持っている。第二に、越境電子商取引のサポートポリシーは継続的に改善されている。近年、国務院は一連の主要な戦略と計画を次々と発表し、戦略的かつ全体的な観点から越境電子商取引業界の発展の青写真を描いている。物流の分野では、物流業界と越境電子商取引の協調的な発展と革新を奨励するために、多くの政策を次々と

<sup>14</sup> 董曉璇、金華。遼寧省跨境電商發展現狀、問題及對策[J]。《辺境経済与文化》, 2021,(11):41-43。

<sup>15</sup> 程琳、邵惠琳。跨境電商產業園在“数字经济”时代的商業模式創新[J]。《上海商業》, 2025, (5): 130-132。

<sup>16</sup> 劉偉、楊宜佳。把握跨境電商快速擴張機遇 加快構建跨境物流服務體系[J]。《中国經貿導刊》, 2025, (9): 38-40。

導入してきた。中国の越境貿易電子商取引に共通する通関手続き、外国為替決済、税金還付の難しさを考慮して、国家は越境試験都市政策を導入し、パイロット改革と促進を通じて越境電子商取引発展の現在のジレンマを解決できると期待している。将来、越境電子商取引産業の飛躍的な発展を達成することを望んでいる。現在、越境電子商取引の発展は世界規模で完全に認識されており、国や省政府はそれを非常に重要視し、政策支援を導入し続けており、越境電子商取引業界は良好な発展の見通しを示している。第三に、技術の進歩は、越境電子商取引業界の発展に大きな推進力をもたらした。人工知能やビッグデータなどの新技術は、越境電子商取引業務のあらゆる側面を効果的に強化し、越境電子商取引の利便性、効率性、適時性、セキュリティを大幅に向上させ、越境電子商取引の効率と規模の成長を促進するための強力なツールになった。

## (2) 越境電子商取引産業が抱える課題

第一に、越境電子商取引の発展は逆風に直面している。現在、国際経済状況は複雑で、米国政府が推進する一国主義と貿易保護主義は、世界経済の安定と発展に深刻な影響を及ぼし、世界の産業チェーンとサプライチェーンは加速的に再構築され、国際貿易の発展パターンは大きな変化を遂げている。国際経済の脱グローバル化の傾向、世界的な監督の強化、およびさまざまな国の関税、規則、政策の頻繁な変更により、越境電子商取引業界の発展に不確実性をもたらされている。第二に、外部市場は非常に競争が激しい。中国は、越境電子商取引産業を拡大するために、越境EC総合試験区の容量を拡大し続けている。深圳、杭州、寧波、上海、鄭州、重慶、広州などの一部の都市は、良好な政策条件、優れた人材条件、および強力な経済基盤に依存して、越境電子商取引産業を精力的に発展させ、他の都市とのギャップを広げ、後進地域の越境電子商取引が先進地域に追いつくことをより困難にしている。第三に、契約の精神が欠けている。中国の越境電子商取引の法律と規制があまり完璧でない状況の中、越境電子商取引業界は効果的な管理と信用システムを欠いており、多くの越境電子商取引企業は取引プロセスの抜け穴を利用しているため、全体的なビジネス環境が悪化しているが、政府部門が監督のバランスを見つけるのは困難である。

## 4. 中国の越境電子商取引産業の質の高い発展を促進する道

### (1) 「シルクロード電子商取引」の発展を積極的に推進し、「一帯一路」に深く統合する

「一帯一路」構想の枠組みの下で、政策コミュニケーション、施設接続性、産業ドッキング、地域協力の面で共同建設国との多段階かつ広範な実際の協力を実施し、「シルクロード電子商取引」の友人の輪を継続的に拡大し、近代的な物流システムを構築し、越境電子商取引の発展配当をさらに解放し、経済のグローバル化

のための発展機会を創出すべきである。まずは「一帯一路」の「ブルーオーシャン市場」の開拓に邁進する。二国間および多国間の国際協力を積極的に推進し、「一帯一路」の深化と強化を促進し、良好な国際ビジネス環境と越境電子商取引の発展のための重要な保証を提供する。多くの「ブルーオーシャン市場」を深く探求し、中国の越境電子商取引業界の持続的かつ急速な発展に永続的な推進力を提供する。次に、「シルクロード電子商取引」のトップダウン設計を良くする。さまざまな地域の比較優位を最大限に活用し、北東アジア、ヨーロッパ、その他の国々とのドッキングと協力の促進に注力し、RCEPを最大限に活用して、東南アジアの越境電子商取引市場を積極的に探求する。第三に、国境を越えた物流サービスの機能を統合および最適化する。「一帯一路」諸国とのインフラ相互接続を共同で推進し、航空貨物線を拡大し、国際的な「海運鉄道インターモーダル輸送」と「道路鉄道インターモーダル輸送」の利点を最大限に活用し、「中欧貨物列車+越境電子商取引モデル」の運行を奨励し、越境電子商取引の急速な発展のための動脈を開くよう努める。

### (2) イノベーション主導の発展を継続的に実施し、越境電子商取引産業の発展レベルを全面的に高める

越境EC総合試験区は、越境電子商取引の発展にとって重要なキャリアであり、イノベーションプラットフォームとしての役割を果たし、制度改革、サービス革新、経営革新の探索的イノベーション実践を行うよう努めるべきである。まず、システムとメカニズムの革新を深く探求する必要がある。事業体の育成、制度の開放、メカニズムとシステムの協力などの主要な分野と重要なリンクに焦点を当て、国際的な高水準の経済および貿易ルールのドッキングを加速し、越境電子商取引産業の分野での開放と協力を拡大する。第二に、AIテクノロジーで、越境電子商取引の飛躍的な発展をリードする。新世代の人工知能、ビッグデータ、ブロックチェーン、5G、その他のデジタル技術を最大限に活用して、越境電子商取引の支払いマーケティング、サプライチェーンシステム、物流、倉庫保管の分野で洗練された管理を実現し、越境EC総合試験区の運用効率を継続的に改善する。第三に、オンライン総合サービスプラットフォームをさらに改善する。包括的なサービスプラットフォームの機能を改善および最適化し、通関、海外倉庫機能、金融、税務などを統合し、「ワンポイントアクセス、ワンストップ」の包括的なサービスを実現し、便利な統合サービスがすべての越境電子商取引企業に利益をもたらすことができるようにする。第四に、税関の越境電子商取引監督の包括的な改革を推進する。税関は、越境電子商取引業界の発展傾向と特性に合わせて調整し、改革と革新のパイロットを促進し<sup>17</sup>、監督とサービス効率を継続的に改善し、越境電子商取引の持続可能で健全な発展を支援する。税関は、越境電子商取引関連の政策と措置に関する広報とガイダンスを引き続き強化すべきである。より多くの企業が越境電子商取引の輸出入返品などの円滑化措置を有効に活用できるように支援し、越境電子商取引小売輸入返品センター倉庫とB2B輸出監督モデルをさらに推進

<sup>17</sup> 王春華, 出口動能从中国製造向中国創造邁進[N]. 《中国改革報》, 2024-01-15(1).

し、新しい貿易形態の健康的で標準化された持続可能な発展を促進する<sup>18</sup>。また、「体験店＋生放送」モデルの発展を加速し、「越境電子商取引＋市場調達」、「越境電子商取引＋保税修理」、「越境電子商取引＋国境民衆相互市場取引」の革新的な発展を引き続き推進し、越境電子商取引業界の成長活力をさらに刺激する。

### (3) 「越境電子商取引＋産業ベルト」の発展を促進し、国内外の貿易の統合を加速する

「越境電子商取引＋産業ベルト」は、新しい対外貿易発展業態と高品質のサプライチェーンの組み合わせであり、「中国製造」の国際競争力の向上に役立つ。国務院、商務部、その他の部門は、「越境電子商取引＋産業ベルト」モデルを推進し、改善し、産業ベルトと越境電子商取引の双方向のエンパワーメントを促進し、より伝統的な産業が海外に行くことを推し進め、国内外の貿易の統合発展を促進し、国内外の二重流通パターン<sup>19</sup>の構築を加速することを繰り返し提案してきた。1つ目は、越境電子商取引と産業の深い統合を促進することである。地方政府が主導して、物理リソースとネットワークリソースの統合とドッキングを実現するための協力プラットフォームを構築し、高品質の越境電子商取引産業チェーンとエコシステムを積極的に構築し、地域の特性と利点を備えた越境電子商取引産業の育成に努める。2つ目は、国際的なマーケティングシステムを構築することである。有力な政策支援でイノベーションを促進し、越境電子商取引工業団地に依存し、各地の産業資源と立地の利点を組み合わせ、優位性がある産業地帯での越境電子商取引の国際マーケティングシステムの構築に努め、より地元の特徴的な製品が国際市場に参入することを促進する。3つ目は、越境電子商取引の特徴がある産業地帯を構築することである。有利な産業クラスターと対外貿易の変革とアップグレード基地に焦点を当て、主要産業を整理し、産業ベルトの主要企業のリストを確立し、一連の越境電子商取引地域特性産業ベルトを育成する。

### (4) 海外倉庫のレイアウトを積極的に推進し、産業チェーンとサプライチェーンの安定性と国際競争力を強化する

2024年6月8日、商務部と他の9つの部門は「越境電子商取引輸出の拡大と海外倉庫の建設促進に関する意見」を発表し、地方自治体が越境EC総合試験区、越境電子商取引工業団地、有利な産業クラスター、対外貿易の変革、基地のアップグレードに依存するように指導し、「越境電子商取引は産業ベルトを強化」モデルの発展のベンチマークを育成する<sup>19</sup>。越境電子商取引の重要な海外ノードとして、海外倉庫は、電子商取引企業が海外でのローカライズされた運用、流通、サービス、および市場拡大を達成するための重要なサポートである。現在、国際貿易のあらゆる側面をハブとして海外倉庫とつながる統合サービスの需要が高まっており、海外倉庫を積極的に計画・レイアウトし、海外倉庫のサービス機能を向上させることで、越境EC産業の発展規模と品質を加速させることは大きな意義がある。まずは、海外倉庫の企画・レイアウト

のペースを加速する。総合試験区の企業や都市が重要な海外市場や姉妹都市に輸出海外倉庫を設立し、海外倉庫のデジタル化、インテリジェンス、利便性のレベルを向上させ、国際物流ノードの構築を促進するための措置を導入および改善する。二つ目は、海外倉庫のサポートと規制システムの革新を強化することである。海外倉庫発展システムとポリシーのトップダウン設計を強化し、海外倉庫サービスと監督のシステムとメカニズムを改善し、ポリシーの実施と着地を確保する。3つ目は、海外ローカライズサービス体制の確立である。「海外倉庫＋ライブ電子商取引」の新しいモデルを探求し、越境電子商取引製品、ブランド、企業、インターネットプラットフォームを海外に進出させ、グローバル化とローカライゼーションの2つの側面に基づいて、グローバル産業チェーンとサプライチェーンシステムの再構築を加速する。

### (5) 世界市場における中国製品の競争力を強化し、中国製造の新しいイメージを確立する

まず、先進の技術と設備を導入することで、生産効率と製品品質を向上させる。同時に、サプライチェーン管理を強化し、原材料の品質と供給の安定性を確保する。第二に、企業は、プリセールスコンサルティング、アフターサービス、その他のリンクなど、サービスレベルの向上にも注意を払う。これにより、越境電子商取引プラットフォームは、生産、設計、研究開発、その他のリンクとの緊密なコラボレーションを実現し、市場の需要に応じて製品戦略を迅速に調整し、パーソナライズされたカスタマイズされたサービスと正確なロジスティクスと流通を提供できる。ますます多くの消費者が中国製品を認識し、信頼できるようにし、中国の越境電子商取引の発展を強力にサポートする。

### (6) 越境 EC サービスセンターを設立改善し、サービス保証体制を整備する

越境電子商取引の運営に存在するさまざまな困難を考慮して、効率的で便利な越境電子商取引サービスセンターを構築し、専門機関にする。エコロジカルなサービスマトリックスを作り、洗練されたサービスの改善に努め、越境電子商取引の発展が直面する多くの問題点を集中的かつ体系的に解決する。法的助言、紛争調停、消費者権利保護、金融サービス、国境を越えた支払い、および越境電子商取引の運営に関連するその他の関連サービスを提供し、越境電子商取引企業、運営者、消費者の障害を取り除く。まず、信用管理体制を確立することである。管理部門と企業は協力して、国境を越えた貿易と電子商取引の信用システムの問題を適切に解決し、越境電子商取引業界の健全で秩序ある発展を促進する。第二に、国境を越えた電子決済および外国為替決済システムを改善する。国境を越えた支払いの革新を促進し、国際決済サービス市場への障壁を排除し、支払いシステムの安全性と信頼性を確保し、越境電子商取引業界の発展を支援するための良好な生態環境を作り出す。第三に、知的財産権の仕事<sup>20</sup>を構築する。

<sup>18</sup> 陳芳, 新一批穩外貿措施來了[N]. 《上海證券報》, 2022-09-28(2).

<sup>19</sup> 郝杰, 商務部等九部門出臺意見: 拓展跨境電商出口, 推進海外倉庫建設[J]. 《紡織服裝週刊》, 2024年, (23):6.

越境電子商取引における知的財産権保護に関する詳細なガイドラインの発行を加速し、越境電子商取引企業がターゲット市場の知的財産状況を把握し、事前に計画を立てることを支援する。第四に、越境電子商取引企業に対する財政支援を提供する努力がなされるべきである。各種の越境電子商取引発展基金の設立を探り、特別な政府支出を設定し、越境電子商取引産業にインセンティブ政策を導入し、越境電子商取引業界の主要分野と主要プロジェクトに財政支援を提供する。

### (7) 人材の育成を強化し、従業員の専門的な教養とスキルレベルを向上させる

越境電子商取引業界の急速な発展に伴い、複雑で技術的かつ革新的な越境電子商取引の人材に対する大きな需要があり、越境電子商取引の人材の欠如が、越境電子商取引および関連産業の発展を制限するボトルネックになっている。したがって、越境電子商取引業界のあらゆるレベルで積極的に人材を育成し、越境電子商取引の人材トレーニングシステムを構築し、越境電子商取引業界の長期的で安定した高品質の発展のための強固な基盤を築くことは重要な課題である。1つ目は、越境電子商取引業界で高レベルの人材を積極的に育成することである。越境EC業界におけるハイエンド人材の育成・導入の増加、海外人材の採用に関する経営方針の最適化、越境EC業界におけるハイレベル人材の発掘基準の策定、実情と組み合わせた支援策の導入などに工夫をこらす必要がある。2つ目は、越境電子商取引に適用可能な人材を育成することである。越境電子商取引工業団地、大学、企業の協力を促進し、「越境電子商取引+小言語」人材養成基地を構築し、越境電子商取引の国際人材を共同で育成する。地元の教育およびトレーニングリソースを最大限に活用し、関連する機能部門の調整に注力し、リソースドッキング推進会議、フォーラム、サロン、およびトレーニング活動を開催し、越境電子商取引の専門家のスキルと管理能力を向上させる。

## 5. 将来の見通し

現在、海外の小売電子商取引市場は活発な発展傾向を示しており、越境電子商取引業界の発展見通しは広い世界の越境EC市場は拡大を続けており、東南アジア、中東、ラテンアメリカなどの新興市場が主な成長力となっている。先進国と比較すると、多くの地域での電子商取引の普及率はまだ改善の余地がある、これは中国の越境電子商取引企業に大きな発展の機会をもたらす。中国の製造業は、コストパフォーマンスが高く、完璧な産業チェーン

とサプライチェーンのコスト優位性により、海外市場で強力な競争力を持っている。海外の消費者に対する需要の高まりとデジタルショッピングの人気と相まって、中国企業が海外に進出する機会を提供している。

中国政府は、全国の178の越境EC総合試験区に依存し、各地域の産業上の利点と場所の利点を組み合わせ、地域の特徴を持つより多くの製品のグローバルバリューチェーンへの統合を促進することを目指して、「越境電子商取引+産業ベルト」を発展する戦略を明確に提唱している。産業ベルトの発展を支援するために越境電子商取引プラットフォームの機能を改善する行動の実施により、越境電子商取引プラットフォームは、包括的な機能アップグレードの重要な段階を経験している。同時に、越境電子商取引プラットフォームも海外の倉庫企業と積極的につながり、オンラインとオフラインの統合を促進している。オンラインプラットフォームと海外の倉庫との緊密な協力により、企業は在庫をより柔軟に管理し、物流ルートをも最適化できるため、顧客満足度とロイヤリティが向上している。「越境電子商取引+産業ベルト」と海外倉庫の戦略的施策を推進することにより、中国の越境電子商取引産業の発展に質的な飛躍をもたらすことになる。

デジタル化の加速に伴い、テクノロジーは越境電子商取引業界のエコロジーを再形成する。生成AIと大規模言語モデルは、カスタマーサービス、マーケティング、デザインを深く強化し、パーソナライズされたレコメンデーションとシームレスな多言語統合を可能にする。海外の倉庫と「フロント倉庫」モデルをインテリジェントなアルゴリズムと組み合わせて、配達時間を3～5日にさらに短縮し、「インスタントリテール」のグローバル化を促進する。さらに、企業は、税金、データ、知的財産権をカバーするワンストップコンプライアンスシステムを確立および改善し、地元のチームビルディングと文化的に適切な製品設計を通じて市場浸透を深める必要がある。デジタル経済と実体経済の統合モデルとして、越境電子商取引は、対外貿易の「新業態」から「新常态」へと進歩した。その発展ロジックは、政策と人口ボーナスによって推進されるものから、テクノロジー、ブランド、コンプライアンス能力の包括的な競争へと移行している。

今後、越境電子商取引産業は、世界市場の多極化、技術応用シナリオ、競争エコロジカル協調、B2C取引規模の拡大といった発展傾向を示すだろう。中国企業は「双循環」の戦略的チャンスをつかみ、差別化されたポジショニング、洗練された運営、そしてコンプライアンス遵守のレイアウトを通じて、グローバルバリューチェーンでより高い地位を占める必要がある。政府レベルでは、越境決済や海外倉庫建設などのインフラをさらに最適化し、業界を「高速成長」から「高品質発展」へと推進し、世界経済の回復に中国の勢いを注入する必要がある。